



つやま市教委 かわら版



津山市教育委員会だより 平成25年3月 第12号

教育委員長

発行 あこせし



居原田洋子
教育委員長

「つやま市教委 かわら版」第12号を市民の皆様にお届けします。津山市の教育行政の内容をわかりやすく伝えたいと思っています。

子どもたちは日々育ちと学びを積み重ね、家庭や地域教育と連続して保育園（所）・幼稚園での落ち着いた生活が実現します。幼い子どもが家庭から離れ、他の子どもと一緒に生活や遊びを営むことは容易なことではありませんが、だからこそ大きく成長していきます。その上で、乳幼児は遊ぶことにより、いろいろなものの特性に気付くことや、様々な相手の特徴に配慮することを知り、さらに熱中して活動に取り組むことで目的をもって工夫する力が実現し、学ぶ力が育ってきます。このように集中して学んでいく力が小学校教育の土台となります。

そのため、津山市では、保育園（所）であっても幼稚園

であっても互いの教育・保育を相互に理解し、同じ方向を向いて実施できる「津山市における就学前教育・保育カリキュラム」を作成しました。

このカリキュラムは、津山市のすべての子どもたちの連続性・一貫性をもった育ちと学びを支えていきます。

津山市教育委員会では、「つなぐ力を育む」を、教育基本理念に掲げ、津山市ならではの教育施策を推進し、皆様へお知らせしてまいります。

津山市における就学前教育・保育カリキュラム完成
保育実践 保幼小連携等に活用

『津山市における就学前教育・保育カリキュラム』が平成25年2月に完成しました。これは、津山市内の私立・公立の保育園（所）、幼稚園で、連続性と一貫性をもった教育・保育を実施するため、年齢層別の学びや生活等の基本的なカリキュラムを作成したものです。

このカリキュラムの作成には、すべての保育園（所）、幼稚園関係者が、『津山の子

どもを育てる』という共通認識をもってスタートし、平成23年10月に、美作大学短期大学部松岡信義教授を会長、私立・公立の保育園（所）、幼稚園代表者を副会長として、「カリキュラム委員会」を立ち上げ、10名の委員により6回の熱意のある検討が重ねられました。

また、平成24年2月から

は、カリキュラムの基になる年齢別補助表の作成のため、私立・公立の保育園（所）、幼稚園代表者44名で構成する「カリキュラム作業部会」を立ち上げ、0～5歳の発達段階に応じた7部会を形成し、真剣かつ丁寧な検討が重ねられました。

今後は、津山市内の保育園（所）、幼稚園が保育課程・教育課程を作成する際



幼保小連携に関するカリキュラム講演会

に、このカリキュラムが大きな道標となり、「健康な心と体の子ども」「自信をもって他者との信頼の中に生きる子ども」「命と自然を尊ぶ子」「豊かな情操と賢さを身に付けた子」の育成を目指します。

さらに、このカリキュラムの活用により、保育園（所）・幼稚園・小学校が連携を深め、就学前教育・保育と小学校教育とが、よりスムーズに接続できるように努め、実践を踏まえて評価・検証し、このカリキュラムがより良いものになるよう、見直しをしていきたいと考えています。

終わりに、カリキュラム作成に大変ご尽力いただきました皆様に対し、心から感謝申し上げます。



「津山市における就学前教育・保育カリキュラム」と「年齢別補助表」

北小学校に通級指導教室を新設します

津山市では、県下でいち早く西小学校に通級指導教室を設置し、広く津山圏域の小學生を受け入れていました。通級指導教室では、通常の学級に在籍する子どもたちに対して、一人一人の状態に応じた指導を週1回、2時間程度行っています。

近年、特別な支援を必要とする子どもたちの数の増加とともに、通級指導教室に通う子どもたちも増加しており、北小学校の耐震改修にあわせて通級指導教室を新たに増設・整備することとしました。



新たに設置する通級指導教室（北小学校）

新たに設置する北小学校の通級指導教室にはセンタ一の機能を持たせることで、特別支援教育に関する研修

会の開催や早期からの教育・就学相談の実施など、体制整備とともに、津山市における特別支援教育の一層の充実を図る予定です。

そのための施設として、子どもたちの障害の状況に応じて、個別指導や集団指導を行うための指導室やブレイクーム、観察室、相談室、研修会等で使用できる会議室、特別支援教育に関する書籍を蓄積する資料室、職員室等を整備しています。

また、小学校の通級指導教室が2校体制になることから、それぞれのカバリエリアを定め、人間関係の形成や心理的な安定等の情緒に関する指導を両校で共通して行います。さらに、西小学校では、これまでの指導を引き継ぐことから言語に関する指導、北小学校では学習障害に対応する指導を行うなど、機能面の分化を図っていきます。

なお、西小学校で行っていた幼児部についても、北小学校にも開設し、2教室体制となります。

津山市の全ての子どもが生き生きと学び、自分であることに誇りを持って学校生

活が行われるように、特別支援教育体制を整備し、児童生徒の教育的ニーズを踏まえた指導の充実と教員の指導力の向上を目指します。

お子さんの発達について気になることがあれば、お気軽に御相談ください。教育相談を随時行っています。

0868-3273955
4月1日から受け付けます。



学校施設の使用手続きが変わります

平成25年4月1日から津山市立学校施設使用条例を施行します。

これまで、学校施設の使用は学校長の判断としていましたが、ルールが不明確なところがありました。この条例により、学校教育に支障のないときに、一定のルールに基づいて、社会教育その他公益的な目的のために利用する団体等に対して、使用を許可することを定めています。

使用の手続き、使用料、使用者の義務等については、次のとおりとなります。

使用手続き

各学校へ使用許可の申請

指定金融機関で使用料を払う

施設を適切に使用する

(片付け、使用簿の記入等)

年間を通して継続して使用する団体は、各学校で団体登録を行ってください。

使用料(一時間当たり)

施設名	金額
屋内運動場	400円
武道場	400円
プール	400円
屋外運動場	100円

町内会、消防団、高校生以下を対象としたスポーツ活動団体、主として障害者や65歳以上の人で構成する団体などによる非営利の活動や行事は、申請により使用料

を免除します。

使用者の義務

- 施設の適切な利用
- 使用後の片付け及び使用簿への記入
- 施設を損傷させた場合の原状回復 など



平成24年度 幼小中学校卒業式

卒業おめでとうございます。

幼稚園

卒業式・卒業生数

卒業式 3月18日 月

園児数 一九一名

小学校

卒業式 3月22日 金

児童数 一〇四一名

中学校

卒業式 3月15日 金

生徒数 一〇〇九名

卒業おめでとう



クローズアップ 市教委

受賞おめでとうござ
います

スポーツ推進委員 小林
秀次氏 文部科学大臣表
彰受賞

津山市スポーツ推進委員
である小林秀次氏が、この度
文部科学大臣表彰を受賞さ
れました。

この賞は38年の多年にわ
たり地域スポーツの普及・発
展に尽力された功績が認め
られたもので、津山市におい
ては4人目の受賞です。

1月27日の津山市スポー
ツ推進委員協議会主催の祝
賀会では、宮地市長をはじめ
多数の方々が祝福に訪れ、盛
大に行われました。

医師 大桑修氏
市政功労者表彰受賞

平成24年度市政功労者の
表彰が2月11日に行われ、
教育委員会関係では、医師の
大桑修氏が受賞されました。

多年にわたり市内の小
校等で学校医を務められ、学
校保健の発展に貢献された
功績が顕著であると認めら
れたものです。
受賞をお祝いいたします
とともに、先生の今後ますます
のご活躍を祈念いたしま
す。

東小学校「おかやまUD(ユニ
バーサルデザイン)たてもコ
ンテスト」最優秀賞

岡山県が主催する「第5回
おかやまUDたてもコン
テスト」で平成23年8月に
完成した東小学校の新校舎
が、最優秀賞を受賞しました。



受賞記念の銘板

審査では、エレベーターの
設置や段差の解消、大きく分
かりやすい表示、各階へ多目
的トイレを設置するなど、す
べての児童、来校者に対する
配慮が見られる点と、自然光
を積極的に採り入れ明るく
開放感あふれる空間をつく
り出し、内装に地元津山産の

木材を多用することで、建物
全体に心地よさを生み出し
ている点が評価されました。

久米中学校給食試食会
全国学校給食週間

津山市教育委員会では、
1月23日(水)に久米中学
校で、給食試食会を行いました。

これは、毎年1月24日か
ら30日までの全国学校給食
週間中に、学校給食への理解
を深めようと実施している
恒例行事です。



皆で協力し手際の良い配膳風景

当日は宮地市長、居原田教
育委員長をはじめ、教育委員
会職員が、生徒と一緒に楽し
く会食をしました。
栄養教諭から、久米地域の
郷土料理で地元の黒豆と米

を使用した「仙人おこわ」を
はじめ、ホキの南蛮漬け、す
まし汁、ポンカンなど献立の
紹介を受け、試食会の前には
、生徒がスムーズに配膳を
している様子も見学しまし
た。



子育てワークショップ研
修の開催

2月13日(水) 成名幼稚園
の参観日で「私も一言、役員
デビュー」と題して、子育て
ワークショップ研修を開催
しました。

参加者は、「親として我が
子にしたいこと」や「子
どもが幼稚園に入ってから
できるようになったこと」など
について話しあい、最後に「P
TA役員のイメージを漢字
一文字で表すとしたら」と題
し発表しました。役員経験の
ない人からは「忙」「為」な
ど、反対に役員経験者からは
「熱」「愛」「成」などが出さ
れ、「忙しさの中でもつなが
りができ、自分が成長でき

た」との意見もありました。
互いの感想や意見を交換
しあう和気あいあいとした
雰囲気の中で、子育てやPT
A活動について深めること
ができました。



子育てについて和やかに語りあいました

鍵山秀三郎氏教育講演会
津山市PTA連合会 津山市
家庭教育推進協議会共催)

1月20日(日)グリーン
ヒルズ津山リージョンセン
ターで、イエローハット創業
者・日本を美しくする会相談
役の鍵山秀三郎(かぎやまひ
でさぶろう)氏を講師にお迎
えし、「凡事徹底、平凡な事
を非凡に努める」と題して
教育講演会を開催しました。

大企業のトップにありながら60年間にわたり、ひたむきにトイレや街頭などの清掃活動を続けてこられた鍵山先生の体験談には、人としての生き方について考えさせられるところも数多くあり、集まった250人の聴衆は、熱心に聴き入っていました。

「誰にでもできる簡単なことを、誰にもできないほど続ける」。参加者は、実践者の真摯な姿に多くの学びと気づきを与えられました。



鍵山秀三郎氏の講演

小学校俳句教室の開催

俳人西東三鬼の、ふるさとである津山で育つ子ども達へ、俳句の愉しさと豊かな心を育てることを目的に、平成

21年度から市内の小・中学校を対象に俳句教室を開催しています。



講師の説明をよく聞き素晴らしい俳句が出来ました

平成24年度は南小学校、清泉小学校、弥生小学校で俳句教室を開催しました。

講師は市内で活動する俳句団体「網俳句会」が務め、児童は俳句について説明を受けた後、楽しく俳句作りをしました。全員が自分らしい俳句を作ることができ、俳句を身近なものに感じてもらえたようです。

豊かな感性と柔軟な視点で作られた俳句は、大人では真似できないようなものがたくさん出来上がりました。



香川県土庄町と津山市スポーツ少年団の交流会

香川県小豆島の土庄町と津山市のスポーツ少年団の交流会が今年、2月2〜3日の両日に行われ、子どもたちははふれあいを深めながら楽しい思い出をつくることができました。



土庄町の仲間と2日間にわたり多くの経験と交流が出来ました

両市町は、昭和60年に土庄町と津山市との間に歴史友好都市縁組を結び、その間、芸術文化、スポーツ等、様々な分野での交流を積極的に行っていきます。なかでも本交流会は、両スポーツ少年団がスポーツを通じて友情を深めるとともに、団の一層の充実と発展を図ることを目的とし、平成3年から続けて実

施し、隔年で夏は津山が土庄、冬は土庄が津山を訪問しています。

今年には美作国建国1300年記念の年ということもあり、土庄の団員と指導者のほかに、町長、議長、教育長なども訪問されました。

初日は恩原高原スキー場でスキーでの交流、翌日は鶴山公園でポイントラリーを行い、その後、津山の母集団などがホルモンうどんや津山特産の自然薯を使ったご飯などでもてなし、お互いの友情を深めました。

美作国・図書館めぐりマップを作成しました

美作地域にある九つの図書館と岡山県立図書館では、美作国建国1300年を記念して、同時に記念展示を開催します

津山市立図書館では4月1日から5月10日まで展示コーナー全体を使って、津山郷土博物館所蔵の「大名行列図」の原寸大のコピーを展示します。

また、美作市立図書館・久米南町図書館・勝央図書館・

奈義町立図書館・真庭市立久世図書館・真庭市立勝山図書館・真庭市立蒜山図書館・西栗倉こども図書館でも4月1日から30日までそれぞれ趣向を凝らした展示を開催します。

ぜひ4月には美作地域の図書館をめぐって展示をお楽しみください。マップについては津山市立図書館で配布しています。



発行 津山市教育委員会
(編集 学校教育課)
〒708-8501
津山市山北5番地
TEL 0868-32-2112 (直通)
FAX 0868-32-2157
E-mail: kyouiku@city.tsuyama.okayama.jp

教育委員会関係課：
教育総務課 学校施設課 学校教育課 保健給食課
生涯学習課 図書館 文化課 スポーツ課 こども課